



東京高速度鐵道工事

地質不良の難工事と軍需インフレによる鐵飢饉等——幾多の困難と闘つてゐる東京高速鐵道の新橋—澁谷間の工事進行状態は五區の總工程を通じて今一息といふところまで進行した。

第一區（新橋—虎の門間）では田村町附近から虎の門滿鐵支社前までの隧道は舊蠟漸く完成し地下の虎の門驛が半分程出來上つた。

第二區（虎の門—赤坂見附間）は地域が溜池川と神田川の舊流域に當るため浸蝕作用で深い豁谷をなしてゐたところに土砂が沈澱したといふ最悪地質地帯——しかし鐵矢板打込みと路面覆工を終り既に一部は掘鑿工事中

第三區（赤坂見附—青山四丁目）は御所前から赤坂見附寄りを除いて掘鑿工事中で、青山三丁目附近は既にトンネルを完成してゐる。

第四區（青山四丁目—澁谷上通間）は青山四丁目と五丁目間、神宮參道前のトンネル完成、目下青山六丁目寄りに杭打工事が進行中

第五區（宮益坂から澁谷驛終端迄の高架部分）は二十五日鹿島組との工事契約を終り早急に著工の豫定である。

會社側では竹股技師長が本年中には完成させたいと意氣込んでゐるが、専門家の間ではそれを實現させるには今後餘程の努力とスピードアップが必要だといはれてゐる。

東京驛前地下道愈着工

三菱地所課がかれてから計畫を進めてゐた東京驛と丸ビル間の地下道は愈近く大林組の手で着工することになつた、同地下道は長さ60間、幅4間高さ9尺のもので東京驛乗車口廊下から丸ビル玄関前へ抜けるもので途中市バス乗場附近にも入口を設備する、工費約40萬圓十ヶ月はかかる見込で今年中には完成の豫定、竣工の上は朝夕ラッシュアワー時にも交通緩和の一助となりビル街勤めの人達に取つては福音と云ふものだ。【カットは地下道の出来る東京驛前】

東京港の改修工事

躍進する大東京港に備へて市では三ヶ年繼續の修築工事を行つてゐるが十二年度修築事業費として修築費40萬圓、埋立地整備費40萬圓、合計80萬圓を以て種種整備を急ぐことになつた、工事の主なるものは

四號地の西南及び東南の海面2萬立方坪の浚渫工費74萬圓、月島突堤の東南、西北部の岸壁工事(78萬圓)四號及び九號埋立地内の道路新設(28萬圓)黎明橋外二橋の架橋工事(32萬圓)越中島驛豫定地から深川濱園町を経て五號埋立地に至る鐵道及び鐵道橋の工事(24萬圓)で

整備費は四號及び五號埋立地の地盛、芝區濱町、九號埋立地間及び濱園町、汐崎町間に木橋を架ける等である。

小河内貯水池の發電計畫

世界第2位の高堰堤として注目されてゐる東京市水道小河内貯水池工事は今春道路工事に着手以來着々本工事起工の準備を進めつゝあるが、この貯水の一部を利用する總工費3,000萬圓の自家電發電案は其後再検討中であつたが調査の結果現在市電電燈電車經營のため購入してゐる55,000キロワット(約600萬圓)の電力を得るためには第一發電所たる小河内の堰堤から少くとも最大時毎秒22立方メートルの落水を必要とする事が判明したので、水道に使用した小河内の貯水量がそれに堪へ得るかどうも詳細な具體案を作成して市會に提案するはずで小河内の貯水量が果してこの最大毎秒22立方メートルの落水に堪へ得るかどうかに就いて水道局に調査を依頼した。

先には豫算委員連の同計畫地の實地視察もあり、漸次實現性を帯びて來たものとしてこの最後のな水道局の調査結果を注目されてゐる。

小河内の傭員住宅

小河内の傭員住宅110戸は四月から着工、7月頃までに第一次の部落を完成、共同浴場、診療所も併設する、問題の小學校は増築することになる模様。

面白山隧道の新施設

仙山線面白山トンネルは昨年九月の發破開通以來1000人の人夫が晝夜兼行で工事を急いだ結果意外に捗取り三月一ぱいで完成を見る運びになつた、このトンネル内には既報の如く我が國三番目の自動信號所を設置するが、このほか更に國鐵で今まで一度も試みた事のない劃期的な施設としてトンネル内5キロ半の軌道を全部熔接して全體を一本のレールとする工事をやる、これはトンネル内は濕度の變化が少

く軌條の伸縮が殆どないため、かうした試みも可能なのでこれによつて列車の震動は完全に抹殺されて快適な旅行が出来るわけである、なほこのほか二月中旬から枕木の下を全部コンクリートの床でかためる工事も始められこれも全國で餘り試みられてゐない施設と云ふ新しづくめである。

かくして面白山トンネルは國鐵の新機軸を出す諸施設の下に三月までに列車の通過出来るまでの工事が完成し正式花形トンネルとして登場することゝなつた。

耐火構造の實地試験

數年來建築學界の懸案とされてゐた耐火構造建築物の火災實驗が同潤會、東大建築學科及び警視廳の協力により愈實現することになつた、この實驗計畫は從來も一、二回企てられたが肝腎の供試室が見當らずその都度計畫倒れになつてゐたが今回同潤會が進んで實驗場所を提供することになつたので漸く具體化するに至つたものである。耐火高層建築物簇出の折柄ではあり日本では勿論世界最初の實驗であるだけに學術上及び技術上にもたらず貢獻は素晴らしいものとして早くも國際的に注目されてゐる、既に前記三關係當局から特別委員を任命したので近く具體方針が決定する筈だが委員會は先づ着手の第一歩として試供場所の候補にあげられてゐる深川清砂通りと澁谷代官山の同潤會アパートに就き廿二日午後一時より實地調査を行つた、實驗の時期は大體八月の豫定になつてゐる、實驗に参加する學者は百餘名に上るのでその研究題目も

- 一、火災供試室入口の溫度測定
- 二、輻射熱量の測定及び延焼經過觀測
- 三、火災實況觀測
- 四、火災と階段との關係研究
- 五、供試室周圍の氣象變化測定
- 六、電氣設備と火災關係

等廣範圍に亘りあらゆる角度から研究をすゝめ實驗狀況は全部寫眞に撮影するなど大掛りのもので供試室は三階建アパートの二階中央部の一室を選び室内には家具什器を備へて放火し上、下四方から觀測するのである、尙當日は警視廳から消防班、警務班が出勤周圍を警戒して萬全を期すると共に同衛生検査所の毒ガス班も参加して火災現場ガス發生狀況を觀測する筈。

信濃川千手發電工事狀況

鐵道省信濃川發電第一期工事は千手町發電所の基礎工事も順調をたどつてゐるので、年度末の三月頃には電氣關係の係員も來着、本年度は發電所の鐵筋コンクリートの建設並に發電機の据付けに着手することになつてゐるが昭和十三年度より送電開始と視られてゐたことについて信電事務所長倉田玄二氏は左の如く語つてゐた。

この工事は豫算から見ても、全體を通じての工事は豫算から見ても全體を通じての工事が御役所仕事として昭和十三年一杯に終るのが適當であると着任以來思つてゐたのである、送電は結局十四年の秋から暮れまでの間に實施されるに至るのが確實なのだ。

と尙第二期工事は十四年度からである。

關門海底の潮流調査成る

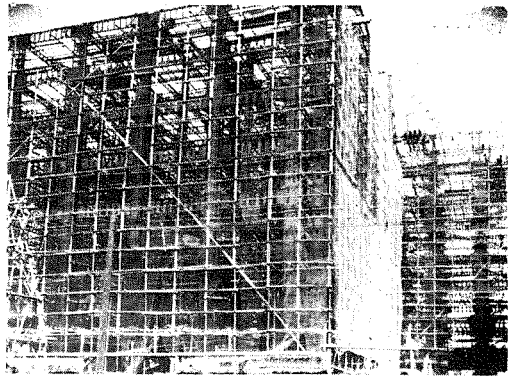
下關改良事務所で隧道掘鑿の參考に資するため大瀬戸及び早瀬兩海峡の潮流を調査中であつたが漸くこの程完結するに至つた、その結果によると大瀬戸の轉流時はその地理的理由によつて早瀬瀬戸より幾分遅れてゐるが、更に流れの方向によつて檢潮すると東流より西流に轉流する場合は平均二分乃至三分七、西流より東流に轉流する場合は平均八分の差があり、この差は大潮時よりも小潮時において著しい即ち大潮時に於いて西流する場合は十六分東流する時は十分となつてゐるが小潮時の西流時では廿五分東流時では六分となつてゐる。

昭和二年十月から同三年九月の一ケ年間に亘つて

行はれた彦島田ノ首、大里新町間の潮流調査によると彦島側海面の流速は毎秒1米9、中間1米8、海底1米6、海峡中央の海面は1米9、中間1米8、海底1米5、大里側海面1米7、中間1米6、海底1米3となつて居り今回の豫定ルート弟子待小森江間の流速もこれと略相等しく海面と海底の流速が大差ない事は普通の河川と非常に異なつてゐる譯である。

鐵材飢饉の事情

鐵材その他建築材料暴騰のため市内では目下建築工事中の建物を一時休止するものが少くないのでこれが下請負者は由々しき生活問題を惹起してゐる有様で東京建築關係組合聯合會では三萬人の従業員の死活問題としてこの救済策には目下計畫中の諸官廳建築物は現下の材料騰貴を熟考して新しい豫算をもつて建築されるやう大藏省營繕管財局、内務省社會局、商工省工務局へ十八日聯合會各組長が訪問陳情した。



土木工事畫報 第十三卷 第三號		定價金七拾錢 (稅二錢)	每月一回一日發行 一ケ年十二册發行
普通購讀料	昭和十二年二月廿六日印刷納本 昭和十二年三月一日發行	關西支局	
壹部七十錢 稅二錢 參ケ月貳圓 稅共 六ケ月四圓 同 一ケ年八圓 同 外國一部 七十八錢 稅共	編輯兼印刷發行人 岡崎保吉 東京市豐島區長崎崎町二丁目三六二九	大阪市浪速區惠美須町2丁目13 工事畫報社支局 電話戎86番	
注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂込の事、但し六ケ月以上の申込は御希望により集金郵便を差出します。	印刷所 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地	大賣捌所	
	發行所 工事畫報社 東京市麴町區丸ノ内三丁目六	東京堂・東海堂 大東館・北隆館	
	電話 九ノ内二六三三番 振替 東京七〇貳六五番		

超高級

浅野ベロセメント

短期高强度
工事期間短縮
工事費節約



(浅野セメント香春工場)



低發熱

浅野マスコンセメント

大塊コンクリート用

説明書御申込次第送呈

浅野セメント株式会社

東京丸の内・海上ビル新館

THE "KOJIGAHO"

AN ILLUSTRATED CONSTRUCTION REVIEW

VOL. 13, No. 3

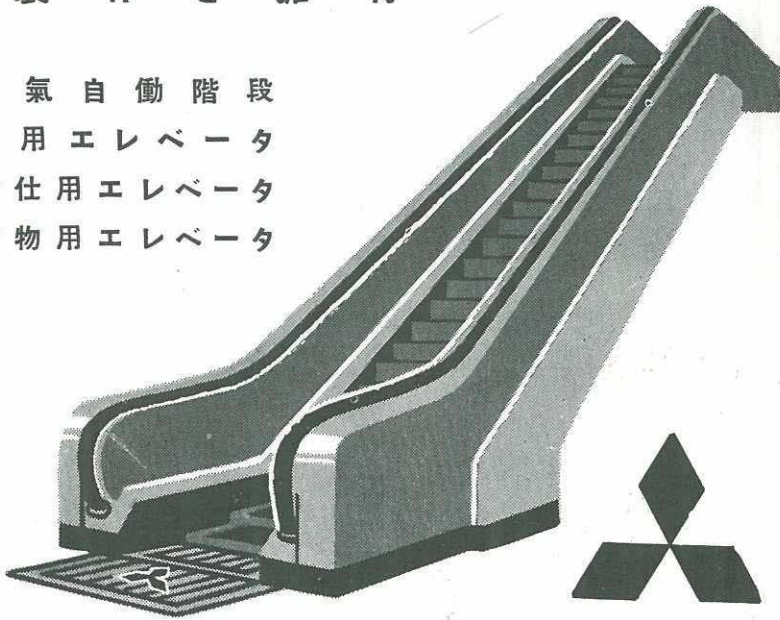
Published Monthly by the Kojo-Gaho-sha

Tokyo Japan

三菱 電気自動階段

製作と据付

電気自動階段
乗用エレベータ
給仕用エレベータ
貨物用エレベータ



一手販賣店
三菱商事株式会社
機械部 東京丸ノ内・支部 支店 出張所各地
三菱電機株式会社
本店 東京丸ノ内 製作所 神戸・名古屋・長崎

定 價 金 七 十 錢 送 料 二 錢

大正十四年七月二十八日第三種郵便物認可
昭和十二年三月一日發行(每月一回發行)

土木
建築
工事
畫報
第十三卷
第三號